

# 圭陵会FAXニュース

発行所：岩手医科大学圭陵会  
 発行人：石川 育成 編集人：前沢 千早  
 連絡先：TEL 019-624-8386 FAX 019-624-8380  
 E-mail：info@keiryokai.gr.jp

第45号内容  
 ・岩手医大内丸MC  
 現行診療科 維持へ  
 一部統合、40科体制

## 岩手医大内丸MC

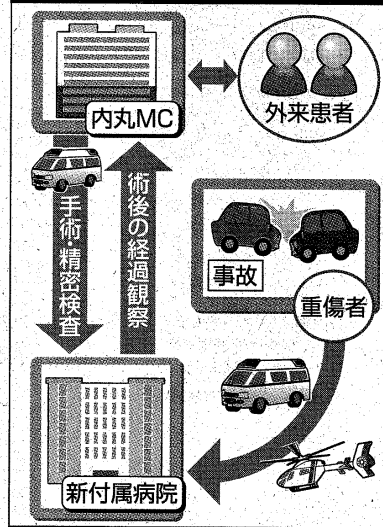
# 現行診療科維持へ

## 一部統合、40科体制

岩手医大(小川彰理事長)は、2019年に予定する付属病院の矢巾町移転に伴い、盛岡市内丸に開設する内丸メディカルセンター(MC)の診療科目を現行と同程度に維持する方向で検討している。現在、付属病院で診察を行う42診療科のうち、心臓手術を担う心臓血管外科のみ矢巾町の新付属病院に移し、一部診療科を統合した上で40診療科を内丸MCで継続する考えだ。医師の確保が課題で、診療科によっては曜日指定や隔日診療を行うことも含め調整する。

岩手日報  
H28. 5. 17

岩手医大の新付属病院と内丸メディカルセンターのイメージ図



現在、岩手医大付属病院 児科、耳鼻咽喉科、精神科、整形外科、産婦人科、小児科など29の医科診療科

岩手医大付属病院の移転計画 矢巾町に新築する新付属病院(千床規模)は2017年2月の着工、19年5月の開院を予定。100床程度で検討されている内丸MCは新病院の開院に合わせ内丸地区の付属病院建物を活用してスタートさせる。同大は主に新付属病院で手術を担い、内丸MCで外来患者を診る方針で一体的な運用を目指す。重症の救急患者を受け入れる県高度救命救急センターは矢巾に移転する。

心臓血管外科など3循環器診療科、矯正歯科や小児歯科など10歯科診療科が診察を行っている。

同大は19年に矢巾町に開院を予定する新付属病院で手術や精密検査など高度医療を提供し、内丸MCで外来機能を担う方針だ。このため心臓手術を行う心臓血管外科は新病院に移し、循環器小児科を小児科と統合した上で40診療科を内丸MCで継続する方向で検討している。

現在、付属病院は緩和ケ

ア科、呼吸器外科など四つの特殊診療科を除き、平日は毎日診察している。矢巾町の新付属病院は現行と同じ診療科を備える予定で、限られた医療資源をどう配分するかが課題となる。

新付属病院が開院すれば患者は内丸地区と新病院に分散する。内丸MCの患者ニーズや利用動向を踏まえた上で、一部診療科の診察を曜日指定にしたり、隔日診療とすることも含めて検討を進めていく。

小川理事長は「内丸地区で外来が必要な診療科は全て残す。ただ診療科の規模は、患者のニーズや各診療科の性格を踏まえて新病院と内丸のどちらに軸足を置か決めていく」と語る。